# 【耕畜連携】(奈良県 畜産農業協同組合肉用牛事業部)

- 奈良県畜産農業協同組合肉用牛事業部は、平成27年から、米(飼料用米等)を収穫した後に水田にすき込みされる稲わらを 家畜飼料として有効活用するとともに、畜産堆肥を肥料として水田に散布することで資源循環型畜産を推進。
- 平成27年度国産粗飼料増産対策事業で稲わら収集活動を支援し、県単事業では堆肥散布活動を支援し、機械や施設を整備し、耕種農家と畜産農家との連携を図ることで作業体制を構築。平成27年度から令和6年度の間に、延べ240 haの圃場から稲わらを収集。
- 平成30年度以降は、補助事業に頼らない自立した運営を行っており、資源循環型畜産経営の要となる県域のコントラクターとして一層の活躍を期待。

## 耕種農家



水田を活用した飼料作物の作付拡大と生産性の向上

#### 稲わら販売

耕畜連携

コントラクター組織体制の確立

堆肥散布

### 肉用牛農家





飼料自給率向上 家畜排せつ物の有効活用

# 畜産農業協同組合肉用牛事業部 (コントラクター)

#### 稲わら収集



レーキによる 稲わら集草



ロールベーラによる稲わらのベール梱包

#### 堆肥散布



マニュアスプレッダー による水田への散布

